

品番 NNFG(H)41038T NNFG(H)41039C

保管用

※上記 () 内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

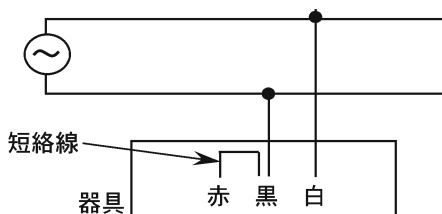
- 施工は、施工説明にしたがい確実に。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 水平天井直付専用です。他の取り付けはしないでください。落下の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
万一破損した場合、すぐに電源を切り、交換してください。
- 蓄電池を短絡・分解したり火や水に投入しない。破裂・やけど・感電・火災の原因となります。
- ガードの取り付けは必ず適合するものを使用する。落下の原因となります。

注意

- この器具は一般屋内専用です。直射日光の当たる場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動の強い場所、外の風やエアコンの冷風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
光学性能に影響を与える場合があります。
(一部の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます。また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。)
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- 寒冷地などで外気に通ずる場所に設置した場合、非常点灯時間が極端に短くなる恐れがあります。
やむを得ず設置する場合は、非常点灯時間の点検を頻繁に行なって下さい。(少なくとも半年ごとの点検は必要)
- 電源と通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 48時間充電後、非常点灯の確認をしてください。充電しないと非常点灯しません。
- この器具の電源は専用回路にする。感電・火災の原因となります。
- 器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

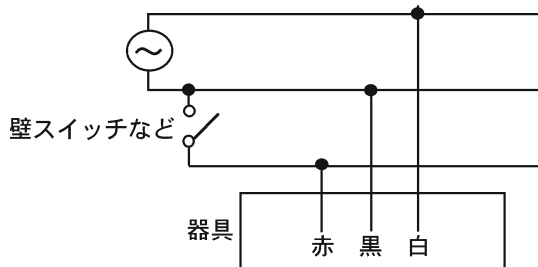
配線種類

2線式 (連続点灯する場合)



※短絡線は器具端子台に接続されています。

3線式 (壁スイッチなどで点滅操作する場合)



※器具端子台の短絡線を取り外して結線してください。

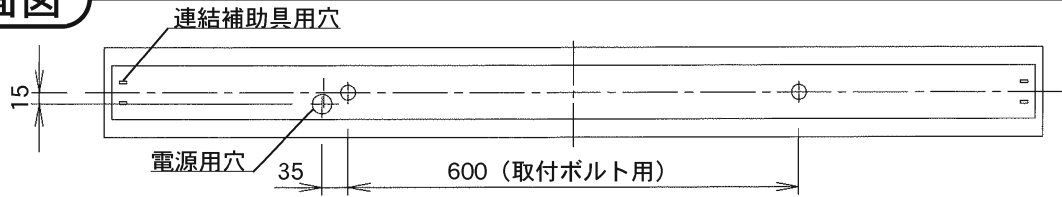
※壁スイッチは、赤線回路に設けてください。

※壁スイッチで消灯しても電池への充電は行われています。

施工上のご注意

- ・接地極のない電源に接続する場合は、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。
- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ、商品仕様書を参照してください。
- ・バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。
この場合には、器具との距離を離すか遮蔽するなどの対策を講じてください。

器具背面図

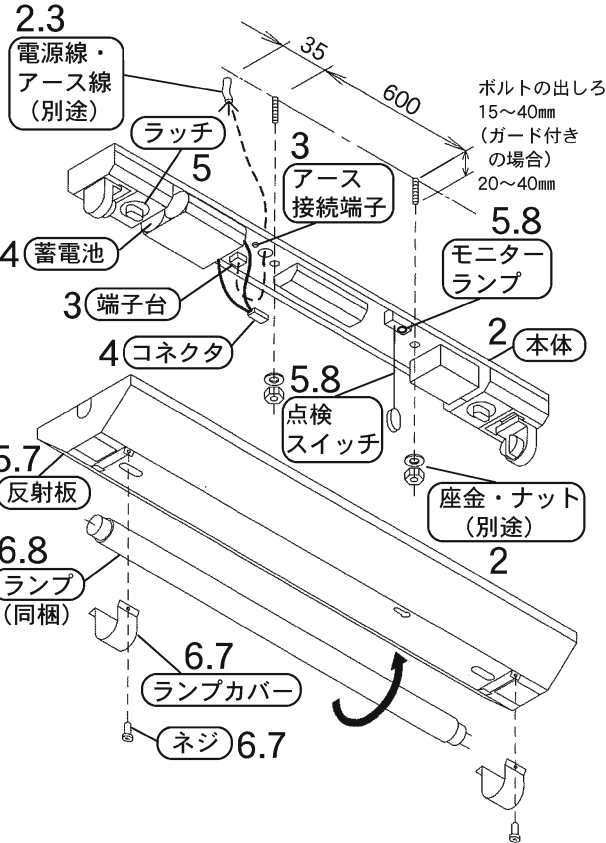


各部のなまえと取付方法

警告

施工は施工説明書にしたがい確実にを行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。



2.3

電源線・アース線 (別途)

4

蓄電池

3 端子台

4 コネクタ

5.7 反射板

6.8 ランプ (同梱)

6.7 ランプカバー

ネジ 6.7

5.8 点検スイッチ

座金・ナット (別途)

2 本体

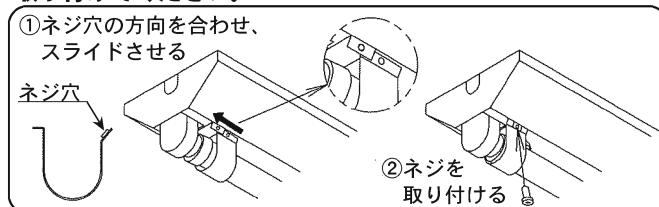
3 アース接続端子

5.8 モニターランプ

ポルトの出しろ 15~40mm (ガード付きの場合) 20~40mm

7 ランプカバーの取付 (2ヶ所)

・下図に従いランプカバーを取り付ける。
・ランプカバーのネジ穴と反射板ネジ穴を合わせる。ネジ頭の破損防止の為、電動ドライバーは使用しないでください。
指定以外のランプ使用を防止する為、必ずランプカバーを取り付けてください。



8 点灯確認

・電源通電状態でランプ及びモニターランプの点灯確認をする。
・点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。(モニターランプは消灯します)
正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」の項を参照してください。

1 取付前の確認

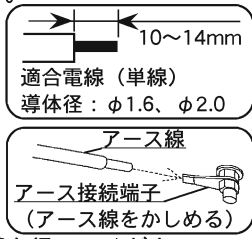
・器具質量 (2.8kg:NNFG41038T) に十分に耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2 本体の取付

・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルトで内部配線を傷つけないように確実に取り付ける。(推奨トルク値: 1.5N・m)
不備があると器具落下・感電の原因となります。

3 電源線・アース線の接続

・電源線を確実に差し込む。
・アース線をアース接続端子に確実にかしめる。
・D種 (第3種) 接地工事が必要。
・端子台の容量は20Aです。
・この器具は、器具内送り配線が可能です。送り配線される場合は、連結器具に同梱の電源ブッシングにて、エンド部通線箇所を保護を行ってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

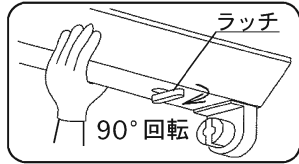


4 コネクタの接続

・常用電源通電後、蓄電池のコネクタを合わせて確実に奥まで差し込む。
接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

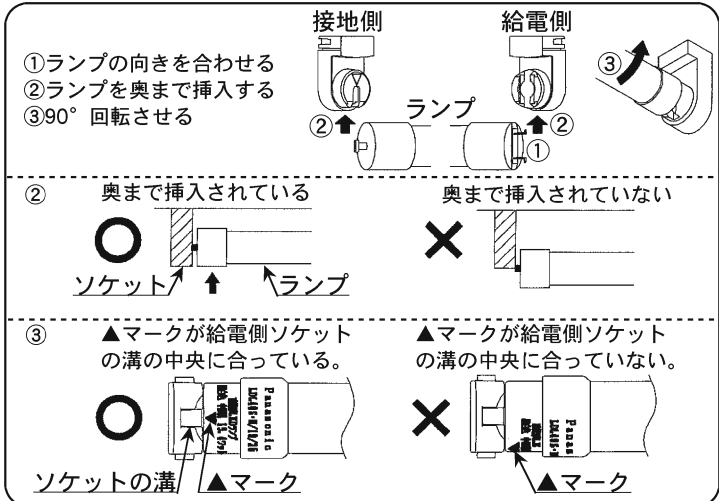
5 反射板の取付

・モニターランプと反射板の穴の位置を合わせ、点検スイッチを穴に通す。
・ラッチを90°回転して、確実に反射板を取り付ける。
取り付けが不完全な場合、反射板落下の原因となります。



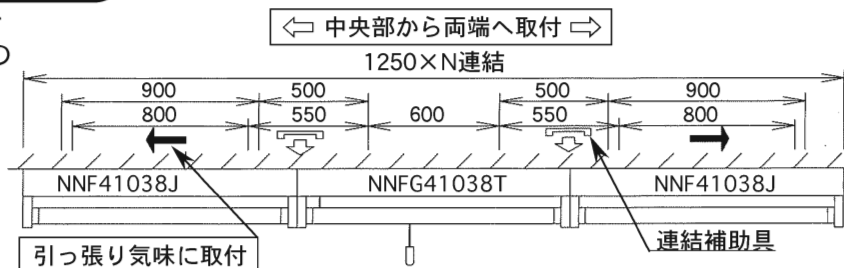
6 ランプ (同梱) を確実に取り付ける

・ランプカバー取付ネジを外し、ランプカバーを取り外す。(2ヶ所)
・適合ランプは、4ページ「お手入れ・ランプ交換」をご参照ください。
取り付けが不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。

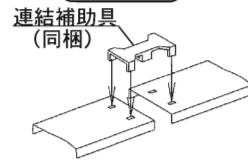


連結の場合

- 器具間のK.Oを外して、同梱の連結補助具を取り付ける。



連結方法



1. 本体に連結補助具を取り付け、引っ張り気味に取り付ける。
2. 本体・反射板の取付は中央部から両端へ向かって取り付ける。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすい物でおおわない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 製品に衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損（ひび・割れなど）した状態で使用しない。破損した状態でも点灯しますが、落下・感電・火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。感電の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換する。
- 蓄電池を加熱したり、火や水に投入しない。破裂する危険があります。
- 蓄電池を分解しない。やけど・感電の原因となります。蓄電池内の液は皮膚や衣類をいためます。
- 落下した蓄電池は使用せず、回収をリサイクル業者に依頼する。但し、落下した際にケースが破損した場合は、電極部と金属部が接触しないよう電気絶縁用ビニルテープで絶縁し、各自治体のルールに従い、廃棄物として処理する。不備があるとショートによる破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

注意

- 光源として高輝度LEDを使用しています。長時間の直視は避けてください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長期間使い続けると、まれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検を受けてください。必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：CLX2021HA）点検せずに長期間使い続けると、まれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- 長時間器具を使用しない場合は、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

- ※1
- ・照明器具は使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。使用条件は周囲温度30℃です。
 - ・LED光源の寿命は、40,000時間です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合など寿命が短くなります。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
 - シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。**変色・変質、強度低下による破損の原因となります。**
 - ランプ交換について……本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
 - パナソニック製LEDランプを使用してください。パナソニック製LEDランプの特性に合わせた器具設計をしておりますので、他社製LEDランプを使用すると、本来の性能が得られない場合があります。
 - ランプには方向性がありますので向きを確認して取り付けてください。
 - ランプをソケットの奥まで確実に挿入して取り付けてください。
 - ランプを確実に90°回転させて取り付けてください。
- ※詳細は2ページ「各部のなまえと取付方法」を参照してください。

交換部品	品番	直管LEDランプ	蓄電池
	NNFG41038T	LDL40S・N/29/38-K	FK748 (7.2V 3000mAh)
	NNFG41039C	LDL40S・N/19/25-K	

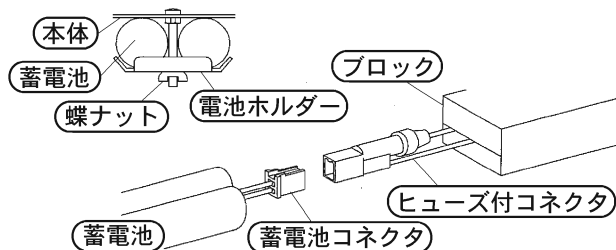


警告

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切る。
- ランプ破損のおそれあり
ランプはガラス製です。取り扱いに注意する。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらない。

(蓄電池交換方法)

- 2ページ「各部のなまえと取付方法」を参照してランプカバー、ランプを取り外す。
- 反射板を外す。
- 蓄電池コネクタを抜く。
- 蝶ナットと電池ホルダーを取り外し、蓄電池を取り外す。
- 蝶ナットと電池ホルダーで新しい蓄電池を取り付ける。
- 蓄電池コネクタを確実に差し込む。
- 反射板、ランプ、ランプカバーを取り付ける。



接続が不完全な場合、感電・火災・非常点灯時に不点の原因となります。

使用上のご注意

- 調光機器などとの組み合わせはできません。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機などの誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ランプピンやソケットの導電板が酸化（腐食）し、不点灯に至る場合があります。湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所では、使用しないでください。
- LED素子にバラツキがある為、同じ品番のランプでも光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。蓄電池の劣化、チラツキや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- 長時間器具を使用しない時は、蓄電池を外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 電源電圧などの影響により瞬間的に明るくなったりする場合があります。予めご了承ください。

保証について

- 保証について……この商品の保証期間は1年間です。但しLED電源は3年間です。ランプ、蓄電池などの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間……弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

◆定期点検のお願い

電池内蔵型器具は性能維持のため、6ヶ月に1回は非常点灯への切り替え、非常点灯時間の確認を必ず行なってください。
 (常に適正な状態に維持するために、法令※で定められた定期の点検に加え、上記点検の実施をお願いします。
 非常点灯が極端に短くなるおそれがあります。)
 ※誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められています。

◆設置年月日 年 月 日

◆取付場所

◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能	

点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能	

点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能	

故障かな?と思ったときは

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
常時、LEDランプが点灯しない	LEDランプの寿命	ランプを交換する
	消灯スイッチがOFFになっている	スイッチをONにする
非常点灯しない	蓄電池コネクタが外れている	コネクタを接続する
	AC電源が通電状態となっていない	AC電源を通電状態にする
非常点灯時、短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
充電モニターランプが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている	コネクタを接続する

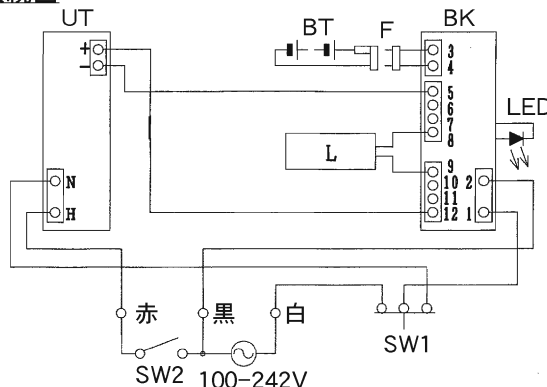
器具定格・接続図

定格

品番	NNFG41038T		
ランプ	LDL40S・N/29/38-K		
非常時光束	1900 lm		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.37A	0.19A	0.16A
入力電力	37W	37W	37W

品番	NNFG41039C		
ランプ	LDL40S・N/19/25-K		
非常時光束	1400 lm		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.26A	0.14A	0.12A
入力電力	26W	26W	26W

接続図



記号・名称

- BK：非常灯ブロック
- UT：電源ユニット
- F：ヒューズ付コネクタ
- BT：蓄電池
- SW1：点検スイッチ
- SW2：常用消灯スイッチ
- LED：充電モニターランプ
- L：ランプ



この器具には、ニッケル水素蓄電池を使用しております。
 ニッケル水素蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素蓄電池の交換、及び
 ご使用済製品の破棄に際してはニッケル水素蓄電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。